

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	Webデザイン I		（ NGM10A ）
講義名（コード）	Webデザイン I		（ NGM10AX ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	WEBマーケティングコース	単位数	1
授業担当者	水野 泰雄・水野 翔	時間数	30
成績評価教員	水野 泰雄・水野 翔	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	デザインルームエム 所属	授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	webサイトの設計とマルチデバイスでのフレームワークデザインを理解する
全体的内容と概要	webデザインとは～何？ホームページのデザイン(概論・概要)・制作基礎を学びます(html・CSSの基礎)
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	webサイトの設計の考え方	現在のホームページの潮流とwebデザイン設計について
2	デバイスの多様化の意味を知る	ユーザーの行動変化を知り、webサイトへの接し方を考える
3	webサイトデザインの変化を知る	webサイトのマルチデバイスの対応が求められる背景と対応
4	価値あるwebサイトを知る	ユーザーファーストと、コンテンツファーストの価値を学ぶ
5	webサイトのコンポーネント設計を覚える	シナリオをたてて情報を伝える順番と優先順位の組み立て方を学ぶ
6	マルチデバイス対応サイトの4分類を知る	広義のデザインから、webサイトが果たすべき目的と機能・形態を設計するデザインが大切
7	コンテンツ設計のルールを覚える	それぞれのデバイスで重視されるコンテンツは何かを考える
8	レイアウトデザイン設計ができる 1	デバイス毎の特性を考慮したレイアウトデザインの傾向と対策を身につける
9	レイアウトデザイン設計ができる 2	コンテンツファーストでのビジュアル・UIの形態設計を知る
10	レイアウトデザイン設計ができる 3	現実のデザイン設計を実際の仕事（当社の事例）から学ぶ
11	実装ルール設計を知る	HTML・CSSの基礎・CSSの設計ルールについて
12	ワークフローの考え方がわかる	プロトタイププロトタイプとワーフロー型を知り、クライアントとの意思疎通の図り方を学ぶ
13	プロジェクトの進行管理を覚える	クライアントとの設計内容の共有方法と課題の可視化
14	まとめと解説	ホームページ制作って～誰に・何を・どう見せるかを考える（架空サイトのデザインを作る）
15	まとめと解説	ビジネスにおけるネットショップやホームページ制作って何を考える

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	
参考文献・資料等	
備考	担当教員はWebデザインの実務経験を活かし、Webデザインの基礎知識から実践までを体系的に指導する